



糸魚川支部 大和川教室 所属

Ryusei Watanabe

渡辺 龍聖 (ワタナベ リュウセイ)

『感謝と空手への思い』 渡辺 龍聖

私は初めて極真空手と出会って、本当によかったし、強くなれたし、礼儀と闘ってくれる相手、両親に感謝する事を極真空手から学びました。

私は、強くなるためには、日々の練習と厳しい稽古を越えるための気持ちが強くなる秘訣だと思います。

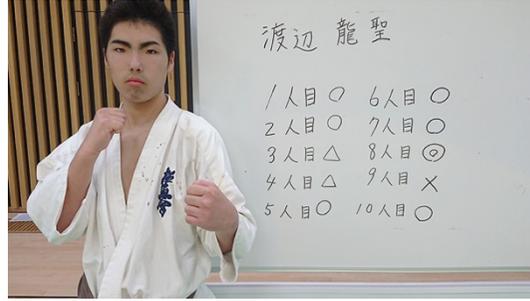
私は大勢の人に支えられここまで強くなることが出来ました。でも、もっと強くなって全日本大会に出場して優勝する事が目標です。そのためには、これから、打たれ強さ、体力、メンタル、技の正確性をつける練習をしていく事が全日本大会で優勝するための、第一歩だと思います。道場での練習だけじゃ勝てないので家での練習や道場での練習を自主的にやる。極真空手は、何度も何度も失敗しても、改善して実行する事が大切。試合前に諦めてしまうと、この先ずっと諦めてしまう人間になり、極真空手の試合は直接打撃なので痛いと思ってしまうので諦めてしまう事がダメなので試合が始まって腹に下突きが当たったら、誰でも痛いので、そこをぐっと堪える事ができる肉体、精神をもっているからこそ強いと言えるのではないだろうか。

私は、極真空手を始めて九年経って、初めて昇段審査ですごく重みを感じ、より一層、黒帯としての自覚を持って、日々、生活していこうと思います。

黒帯だからこそ一つの練習の重要さを理解し、日々の練習に取り組み、強さや技はもちろん精神力や帯下に教える力、黒帯としての心構えがまだ足りないと思います。

私は、黒帯はスタートでゴールは自分の限界を越えることがゴールだと思います。極真空手を今までやってきて、肉体系やメンタル面も成長できました。それは、お母さん、お父さん、岡田師範の支えがあって肉体系、メンタル面も成長することができ、お母さん、お父さん、岡田師範に感謝しています。私はまだ、改善する事がたくさんあります。例えば型では気合と細かい所の意識が足りないと思います。

昇段・昇級審査を終了して中川代表師範に、基本、移動、型が下手と言われ、もっと基本、移動、型を練習しなければならぬと思いました。私は毎日の練習を



大切にし、一つ一つの動作に緩急、強弱、呼吸をつけられるような練習を今後していき、日々の練習が自分の体に身が付くように日々精進していこうと思います。
す。
押忍。